

1982～83年

年 次 報 告

昭和57～昭和58年度



横浜緑ロータリークラブ

人類はひとつ

世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE-

Build Bridges of Friendship

Throughout the World

1982～83 R.I. 会長

向 笠 広 次

HIROJI MUKASA

会長方針 **愛と奉仕**

クラブ会長 田 辺 政 雄

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	6
出席委員会報告	6
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	10
雑誌委員会報告	11
クラブ会報委員会報告	11
会員選考委員会報告	12
会員増強委員会報告	12
プログラム委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	17
広報委員会報告	17
S. A. A. 報告	18
社会奉仕委員会報告	18
青少年委員会報告	19
インターアクト委員会報告	19
ローターアクト委員会報告	22
職業奉仕委員会報告	22
国際奉仕委員会報告	23
世界社会奉仕委員会報告	23
ロータリー財団委員会報告	24
米山奨学委員会報告	25
会 計 報 告	26
横浜緑ロータリークラブ組織表	30
備 品 目 録	31
充填・未充填職業分類表	32

会 長 報 告

会 長 田 辺 政 雄

この一年間、理事役員、会員の皆様の御支援により、会長の責務を果たすことができましたことを心から御礼を申し上げます。

クラブ奉仕をはじめ、各委員会がそれぞれロータリーの綱領を取り入れ、これを反映させ、奉仕活動を実践されましたことを心から感謝すると共に、嬉しく思っております。

本年度、向笠R I 会長のターゲットは「人類はひとつ：世界中に友情の橋をかけよう」といわれ、この理想を実現するために、国際交流の活動を実行しました。

姉妹クラブのスイス・フラウェルロータリークラブへ当クラブから会員、家族4名の親善訪問、大邸松林ロータリークラブ創立4周年記念行事へ、当クラブから8名の会員が親善訪問し、その途中、慶州のナザレ園を訪れて、不幸なる日系婦人達を慰問した。オーストラリアからの交換学生、ウエンデー・ジャクソンさんをホストし、交換学生として鈴木早苗さんがオーストラリアのワーナム・プールに留学して国際交流を深める。台湾の米山奨学生、詹秀媚さんをホストし、インターアクトクラブ3月下旬、ハワイのウエスト・パール・ハーバー・ロータリー・クラブに親善訪問。東京工大の中国の留学生10名を招待して会員、家族との交歓会など、それぞれ関係の委員会の適切なる準備と会員の皆様のご協力により大過なく諸行事を実行することができたことを深く感謝しております。

本年度は会長方針「愛と奉仕」をかゝげ、愛の心の発露として友愛があり、人間愛があり、全会員が親睦を深め友情を温ためるために夜間例会を年間6回に亘り行いました。

横浜田園ロータリークラブと初めての合同例会も楽しい思い出として印象に残りました。

青少年委員会が本年度の当初に緑警察署の「愛の鈴」運動に協力し、夏の交通安全講座「ヤングドライバーのつどい」を緑公会堂で開催し、青少年の皆様にクラブとして初めてのお話しをする機会をもち、地域の皆様に、ロータリーの存在を明らかにすることができました。思うに1980年代は青少年の時代と言われております。社会にとっても、国家にとっても最も価値観の高い青少年の若い力を大切にしていたとき、大人への成長をなしとげるために、その過渡期におこります混乱とか嗟跌をうまくかわして、又のりこえて着実に成長することを望んでおります。

尚、本年度の目標であります。

- (1) 会員増強については、厳しい環境により目標には達成しませんでした。純会員増は2名となり期末の会員数は50名になりました。
- (2) 新クラブ結成のために中山恒三郎会員が特別代表に委嘱されました。ロータリーの発展のために新クラブの結成を期待しております。
- (3) ロータリー財団の寄付については募金の範囲を会員のご家族に拡げて皆様の温かいご協力をいただき、米山奨学会の寄付は東南アジアからの留学生を援助するために皆様のご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

幹 事 報 告

幹 事 内 野 晃
副幹事 渡 辺 武

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ
地 域 横浜市緑区 人 口 329,436人
世帯数 109,253 (6.30 現在)
事 務 所 横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内
例 会 場 同 上
例 会 日 毎週水曜日 12:30～13:30
創 立 昭和45年2月28日 (スポンサークラブ横浜港北RC)
昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認
特別代表 山 崎 卯 一
昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同
(於 横浜市文化体育館)
昭和53年5月27日 横浜田園RC創立総会
於 三井銀行青葉台支店
(移籍会員4名)
昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ
認証状伝達式挙行(於 桐蔭学園)
昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ
創立総会(於 桐蔭学園)
付 記 所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域
とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。
昭和52年7月よりR.Iの地区変更により第259地区となりました。

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員 36名
シニア・アクティブ会員 14名

計 50名 (内 チャーターメンバー 8名)

(2) 年 令

36～40才	2 名	
41～45才	7 名	最高年令 77 才
46～50才	5 名	最低年令 37 才
51～55才	12 名	平 均 55 才
56才以上	24 名	

現会員で当クラブ会員としての在籍年数

1 年未 満	7 名	
2 ～ 3年	9 名	平 均 7.2 年 強
4 ～ 6年	5 名	
7 ～15年	29 名	

2. 例会来客数

例会数 51 回

来客数 ゲスト及ビジターの合計数 130 名
(内 ゲスト 68 名)

月	例 会 数	来 客 数	月	例 会 数	来 客 数
7	4	1 0	2	4	1 2
8	4	1 1	3	5	1 7
9	4	1 7	4	4	9
10	4	8	5	4	1 0
11	3	9	6	5	6
12	5	1 5			
1	4	6	計	51	130

〔入 会 者〕

近 藤 裕 義 君	58年 1 月 12 日入会	都市銀行
大 島 匡 佐 君	58年 3 月 2 日入会	電話事業
飯 塚 金次郎 君	58年 5 月 11 日入会	舗装工事
横 井 好 明 君	58年 5 月 11 日入会	情報通信

〔退 会 者〕

北 島 司 君	57年 10 月 30 日	転 勤
山 本 国 雄 君	58年 2 月 23 日	転 勤

〔歴代会長・幹事及会員数，出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創立時	(石 川 治 道)	(柴 田 清)	24名	92.86 %	45年6月迄
45~46	(石 川 治 道)	(柴 田 清)	24名	98.58 %	
46~47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41名	98.09 %	
47~48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40名	94.29 %	
48~49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	98.40 %	
49~50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67 %	
50~51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38 %	
51~52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60 %	
52~53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48名	98.82 %	
53~54	森 善 助	浜 田 勝 弥	47名	98.57 %	
54~55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74 %	
55~56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33 %	
56~57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18 %	
57~58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11 %	
58~59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名		

〔チャーターメンバー〕 現会員 8名

秋 田 茂	55. 2.20 死亡	足 立 英 一	46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6.30 退会	麻 生 和 衛	54.12.26 退会
岩 崎 董 正	57. 6.30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1.31 退会
小 峰 政 博	48.10.20 退会 相模原南RCへ	細 辻 文 次	47. 6.28 退会
中 山 恒三郎		岩 本 正 三	
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴 木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8.29 退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	
志 田 宝	47. 1.29.退会	鵜 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6.26.退会	吉 田 晴太郎	48. 5. 2 退会

ク ラ ブ 奉 仕 担 当 理 事 報 告

担当理事 武 藤 松 一

各委員会の方々は夫々の担当分野で良くやっていただきました。クラブ奉仕活動はお互の親睦を更に深め、友情の和を外へ拡げるのが役目ですが、その潤滑油的役割を果すべき私自身の活動が不十分であった事を反省しております。

出 席 委 員 会 報 告

委員長 中 畑 龍 二

副委員長 渡 辺 健 一

委 員 林 達 磨

1. ホームクラブ出席100%を目標に推進し出席状況の分析を行った。
2. クラブ例会に欠席した場合のメイクアップの確認をとるよう努力した。
3. ホームクラブ一年間無欠席の会員2名に記念品を贈り感謝の意を表した。
4. 各委員会と連絡をとり、I. G. F, 地区大会, ホームクラブ年間行事等に積極的に参加してもらうよう呼びかけたが、結果はあまりよくなく反省しております。

1982～83(57～58)年度

1981	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名 誉 会 員) を 除 く	3 出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	4 出 席 又 は メ ー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
7 月	7	4 8	4 6	4 6	100
	1 4	4 8	4 6	4 6	100
	2 1	4 8	4 6	4 5	97.83
	2 8	4 8	4 6	4 6	100
				合 計	397.83
				平均百分率	99.46
8 月	4	4 8	4 6	4 6	100
	1 1	4 8	4 6	4 6	100
	1 8	4 8	4 6	4 6	100
	2 5	4 8	4 6	4 6	100
				合 計	
				平均百分率	100
9 月	1	4 8	4 6	4 6	100
	8	4 8	4 6	4 6	100
	1 5				
	2 2	4 8	4 6	4 5	97.83
	2 9	4 8	4 6	4 5	97.83
				合 計	395.66
10 月	6	4 8	4 6	4 6	100
	1 3	4 8	4 6	4 6	100
	2 0	4 8	4 6	4 6	100
	2 7	4 8	4 6	4 6	100
				合 計	400
				平均百分率	100
11 月	3				
	1 0	4 7	4 5	4 5	100
	1 7	4 7	4 5	4 5	100
	2 4	4 7	4 5	4 4	97.78
				合 計	297.78
				平均百分率	99.26
12 月	1	4 7	4 5	4 4	97.78
	8	4 7	4 5	4 5	100
	1 5	4 7	4 5	4 5	100
	2 2	4 7	4 5		100
	2 9	4 7	4 5		100
				合 計	497.78
				平均百分率	99.56

1981	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名 誉 会 員) を 除 く	3 出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	4 出 席 又 は メ ー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
1 月	5	4 7	4 4	4 4	100
	1 2	4 8	4 6	4 5	97.83
	1 9	4 8	4 6	4 5	97.83
	2 6	4 8	4 6	4 6	100
				合 計	395.66
				平均百分率	98.92
2 月	2	4 8	4 6	4 5	97.83
	9	4 8	4 6	4 4	95.65
	1 6	4 8	4 6	4 6	100
	2 3	4 8	4 6	4 6	100
				合 計	393.48
				平均百分率	98.37
3 月	2	4 8	4 6	4 4	95.65
	9	4 8	4 6	4 6	100
	1 6	4 8	4 6	4 6	100
	2 3	4 8	4 6	4 5	97.83
	3 0	4 8	4 6	4 5	97.83
				合 計	491.31
4 月				平均百分率	98.26
	6	4 8	4 6	4 6	100
	1 3	4 8	4 6	4 6	100
	2 0	4 8	4 6	4 6	100
	2 7	4 8	4 6	4 5	97.83
				合 計	397.83
5 月				平均百分率	99.46
	4	4 8	4 6	4 5	97.83
	1 1	5 0	4 8	4 6	95.83
	1 8	5 0	4 8	4 7	97.92
	2 5	5 0	4 8	4 8	100
				合 計	391.58
6 月				平均百分率	97.90
	1	5 0	4 8	4 7	97.92
	8	5 0	4 8	4 7	97.92
	1 5	5 0	4 8	4 8	100
	2 2	5 0	4 8	4 8	100
	2 9	5 0	4 8	4 8	100
				合 計	495.84
				平均百分率	99.17%

◎ 年平均 99.11%

本年度個人 100% 出席者並びに連続 100% の会員は下記の通りです。

○…本年度 100%

◎…ホームクラブ 100%

数字は連続年数：() 内の数字は通算年数を表わす。

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	5	○	6	武 田	1	○	2
阿久根	9	○	10	田 辺	7	○	8
遠 藤	2	○	3	田 沼	6	◎	7
古 谷	7	○	8	寺 崎	1	○	2
林		○	1	戸 田	10	○	11
岩 岡	7	○	8	富 永	5	○	6
岩 沢	12	○	13	豊 田	2	○	3
加藤勇	1	○	2	内 野	6	○	7
加藤雅	12(19)	○	13(20)	鵜 川	12	○	13
加藤直	1	○	2	渡辺健	1	○	2
加藤貞	○	○	1	渡辺武	4	○	5
河 原	○	○	1	藪 島	2	○	3
三 沢	8	○	9	山 田	4	○	5
森	3	○	4	山 下	9	○	10
武 藤	7	○	8	好 井	6	○	7
中 林	9	○	10	代々木	9	○	10
中 畑	1	◎	2	近 藤	1/12 入会	入会以来○	
中 村	3	○	4	大 島	3/2 入会	" ○	
中 山	1	○	2	飯 塚	5/11 入会	" ○	
岡 本	7	○	8	横 井	5/11 入会	" ○	
城 田	1	○	2				

小林(家) 小林(富) 島倉

職業分類委員会報告

委員長 寺崎 誠 三
副委員長 矢島 誠 治(2)
委員 山田 雅 人(3)

- (1) 本年度も地区ガバナーの方針に従い、会員の増強を意図して職業分類の再検討を行いました、一般社会的情勢がきびしく未充填職業分類表がうまく活用出来なかった。
- (2) 充填及未充填の職業分類一覧表を作成し、全会員に配布し、協力をもとめた。しかし成果を挙げる事が出来ず反省しています。
- (3) シニア・アクティブ会員(14名)の分類空白を充填する様、働きかけましたが、結果は残念ながら1名の充填に終わりました。
- (4) 本年度の開放65の所、正36名、シニア14名、充填%55.08です。

親睦活動委員会報告

委員長	幸内 伸 雄	副委員長	山田 雅 人
委員	赤柄 忠 昭	名倉 健 二	富 永 力
	好井 良 雄	田 沼 文 衛	小 林 敬
	北 島 司	城 田 昭 次	中 畑 龍 二
	山 本 国 雄	河 原 照 忠	加 藤 貞 夫
	粟 嶋 優	近 藤 裕 蔵	大 島 匡 佐
	飯塚 金次郎	横 井 好 明	

本年度は家族を含めキャンプを予定したが台風の影響で中止せざるを得ず、結果として夜間例会のみとなった。

- 9月29日 国際奉仕委員会と共催で中国留学生10名を横浜南京街のホリディン横浜に招き大いに歓談し、交流を深めた。
- 12月22日 家族親睦会を郵便貯金ホールにて行い、アトラクションとしてロータリー財団奨学生に選ばれた小山由美さんのグループによる演奏にて楽しい親睦を図った。
- 1月26日 田園R.C と合同で新横浜ホテルにて歓談した。
- 3月30日 八十八にて夜間例会を催した。
- 5月25日 相生にて夜間例会を行った。
- 6月22日 期末懇親会を熱海大観荘にて行った。

雑誌委員会報告

委員長 阿久根 幹 成

副委員長 名 倉 健 二

1. 会員の雑誌（ロータリーの友）に対する関心を高める努力をしてきた。
2. 雑誌を会員に渡すのを、一週遅らせて次週に渡す時、雑誌の内容を紹介して、ロータリーの友を愛読するように努めた。
3. 雑誌週間に卓話を試みた。

クラブ会報委員会報告

委員長 田 沼 文 衛

副委員長 （山 本 国 雄）

委 員 林 達 磨 岩 岡 正

加 藤 勇 夫 長 瀬 正 作

寺 崎 誠 三 渡 辺 健 一

クラブ会報委員の親睦と協力を基として、多くの会員に親しみと楽しみをもたれるよう、内容の充実を図ることに重点をおいた。

1. クラブ会報の「とびら」のフォームを更めた。
2. 例会の重要事項を的確に把握し、之を記録して全会員のロータリー教育に寄与した。
3. ロータリー情報・雑誌委員会と連繫を密にし、クラブの出版物又は通達等から、ロータリーの奉仕の理想及び、ロータリー活動に寄与できる記事を摘録して掲載した。
4. インターアクトクラブ・ローターアクトクラブ委員会との協力により、そのクラブ活動の主なる記事を掲載した。
5. クラブ会報の交換及配布
 - (1) 近隣他クラブと会報の交換。
 - (2) 広報委員会と協力し、地域社会各方面へ会報を配布、ロータリー活動を正しく理解されるよう配慮した。

以 上

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委 員 長 中 山 恒三郎
副委員長 岩 沢 幸 男
委 員 小 林 安 雄

当委員会は当クラブの厳しい会員選考規準に則し、2名の会員候補者を厳正に選考した結果、当クラブの一員として適格者であると判断し、理事会に報告すると共に、よりよいロータリアンとして育つことを期待いたしております。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委 員 長 武 藤 松 一
副委員長 山 下 栄 蔵
委 員 中 山 恒三郎 三 沢 君 夫
 古 谷 英太郎

年間10名の会員増強を目標にして努力致しましたが、目標を大巾に下廻ってしまいました。入会候補者は10数名にのぼりましたが、経済不況の影響も大きく、仲々、入会の運び迄到りませんでした。

昭和57年7月1日現在 48名で、

 入会者 4名

 退会者 2名（転勤による）

従って、最終会員数 50名となりました。

プログラム委員会報告

委員長 戸田 裕也

副委員長 赤柄 忠昭

委員 加藤 直幸

- ① 旧会員の方々の職業報告をお願いしたが、実現出来なかった。
- ② 旧会員の中から、職業上の専門知識を他会員に情報伝達して貰い、会員間の体験、情報の交換の場にした。
- ③ 最低月1回は、著名な講師を迎え、例会を興味深いものにした。
- ④ 新企画として4月6日にフリー・トーキングの日を作り、懇親を深めた。
- ⑤ 夜間例会を年4回、親睦委員会と協同企画した。そのうち1回は在日中国留学生と国際交流した。
- ⑥ 地元への密着を考慮して、区長、警察署長、消防署長らを卓話に来て貰った。

1982—83年度（昭和57—58年）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第 1 週	7日 会長・幹事 就任あいさつ	4日 社会奉仕 フォーラム 中林委員長	1日 中国について 白京姫氏	6日 職場見学 電々公社横浜 西電報電話局 磯野局長	3日 休	1日 最も重要な人 物（スライド） 武藤副会長
第 2 週	14日 年度計画発表 四大奉仕委員 長	11日 制御工学 東京工大制御 工学科，教授 森田矢次郎氏	8日 青少年奉仕に ついて 鵜川会員	13日 米山財団につ いて 森委員長 詹秀媚氏	10日 ロータリー財 団奨学生とし て 財団奨学生 小山由美氏	8日 横浜の近代建 築 横塚緑区長
第 3 週	21日 クラブ奉仕 フォーラム 武藤委員長	18日 職業奉仕 フォーラム 渡辺委員長	15日 休	20日 フランスを垣 間見て エヤー・フラ ンス 三沢肇氏	17日 横浜駅よもや ま話 横浜駅々長 渡辺啓介氏	15日 原子力発電 日本原子力発 電㈱常務 浅田忠一氏
第 4 週	28日 中東激変 NHK解説委 員 山下高明氏	25日 クラブが取組 むべき課題 武藤副会長	22日 国際奉仕 フォーラム 中村委員長	27日 ガバナー公式 訪問	24日 ソビエットの 教育 鵜川会員	22日 クリスマス家 族会 郵便貯金会館
第 5 週			29日 夜間例会 中国留学生を 囲んで （ホリディ・ イン）			29日 前半を省みて 会長・幹事

横浜緑 R C 年間 プ ロ グ ラ ム

1月	2月	3月	4月	5月	6月
5日 年頭あいさつ 田辺会長	2日 防災の話 緑消防署長 大貫清氏	2日 中小企業の現 況 中小企業指導 センター 碓井所長	6日 フリー・トゥ キング 戸田会員	4日 化粧品よもや ま話 資生堂 柳光男氏	1日 匂いについて 資生堂 中村祥二氏
12日 野球談義 報知新聞運動 部 中山伯男氏	9日 職業奉仕 フォーラム 渡辺委員長	9日 国際奉仕 フォーラム 中村委員長	13日 ホテルの話 ホテルコンサ ルタント 石倉豊氏	11日 映画産業につ いて (株)につかつ撮 影所 樋口社長	8日 職業報告 大島会員
19日 社会奉仕 フォーラム 朝日新聞社の電 子と光の新聞作 り 中林委員長	16日 世界理解週間 交換学生 ウェンデー・ ジャクソン氏	16日 非行少年の実 態について 緑警察署長 松村勇氏	20日 職業報告 栗島会員	18日 韓国大邱松林 RC並ナザレ 国を訪問して 山下会員	15日 1年を省りみ て 四大奉仕委員 長
26日 夜間例会 田園RCと合 同 (新横浜ホテ ル)	23日 ロータリー創 立記念日 横浜港北RC 山崎卯一氏	23日 税あれこれ 神奈川税務署 副署長 出崎満氏	27日 雑誌週間 阿久根委員長	25日 夜間例会 (相生)	22日 期末懇親会 (大観荘)
		30日 夜間例会 (八十八にて)			29日 今年度終りに 当って 会長・幹事

地区及び分区その他会議及び諸行事

57.	4. 16(金)	次年度会長・副会長・幹事会	川崎日航ホテル 14:00~18:00	3名
	6. 26(土)	次年度会長・幹事会(第2分区)	浜銀西口支店	2名
	8. 28(土)	拡大増強委員会	平塚農協ビル 14:00~17:00	2名
	8. 30(月)	クラブ国際奉仕委員会関係合同会議	平塚農協ビル 15:00~17:00	2名
	10. 10(日) 11(月)	地区大会	東海大学	35名
	11. 22(月) ~23(火)	インターアクト年次大会	ヨコハマポートサイド ホテル	4名
	11. 27(土)	青少年交換オリエンテーション	川崎日航ホテル 14:00~17:00	1名
58.	2. 11(土)	青少年交換学生歓送迎会	スカイビル	1名
	2. 18(土) ~21(火)	RA海外研修旅行(グアム島)		2名
	2. 19(土)	第2分区IGF・ホスト横浜東RC	高島屋	全 員
	2. 19(土)	財団学友オリエンテーション	スカイビル	1名
	3. 10(木)	米山奨学生歓送会	スカイビル 17:00~19:00	1名
	3. 21 (休日)	次年度会長幹事会	平塚農協ビル 14:00~	2名
	3. 27(火)	第2回国際交流ハイスクールの集い	神奈川県国際交流セン ター	1名
	4. 7(木)	横浜鶴見北RC記念式・ニューグランド	13:00~16:00	2名
	4. 29(金)	姉妹クラブ・大邸松林RC訪問		
	5. 11(水) ~13(金)	ライラ	川崎市立青少年の家	1名
	6. 19(日)	地区協議会	産業能率大学 10:30~19:00	15名

ロータリー情報委員会報告

委員長 山下 栄 蔵
副委員長 岡 本 健(2)
委 員 岩 沢 幸 男(3)

ロータリー活動をより一層理解し、又意見の交換をする事に依り相互の親睦を深める事を目的として、下記の通り炉辺会合を実施した。

1. 出席を要請する会員は昭和50年以後の入会者とした。
 2. 出席予定者25名を5名毎の5グループに分けて実施した。
 3. 炉辺会合の場所は会員事業所内の会議室とした。
 - 第1回 8月18日(水) 午後3時より2時間
 - 第2回 9月22日(水) ”
 - 第3回 10月20日(水) ”
 - 第4.5回 12月15日(水) 2グループ合同で実施した。
 4. 内容に付ては、会長又は副会長、情報委員が最初にロータリーに付ての説明又は考え方を話した後フリー討論とした。
 5. 出席者全員での親睦を主体とした懇親会を2月16日、3月16日の2回夕食を共にし乍ら開催した。
- 以 上

広報委員会報告

委員長 豊 田 洋
副委員長 武 田 峯 生
委 員 加 藤 勇 夫

活動及効果を地域社会に反映させる様という目標を持って一年間活動しましたが、実際には親睦社会奉仕、青少年各委員会の活動を地元新聞に掲載するにとどまりました。

S . S . A . 報 告

S . A . A . 遠 藤 真 作

副 S . A . A . 城 田 昭 次

加 藤 勇 夫

皆様の御協力により、目標が達成出来ましたことを深く感謝致します。

1. ビジターに好感持たれる様、ビジター席に親睦委員を同席させた。
2. 席の位置を固定せず、友愛の間を充分活用して親睦と友愛を深めた。
3. ① 時間厳守した。
② 健康体操を毎回施行した。
③ 例会中禁煙とした。
④ 例会中の私語に気をつけた。
⑤ 例会の出欠の有無は、2～3日より、S A Aより電話して確かめたので、食事の無駄がはぶけて、会計に寄与した。

社 会 奉 仕 委 員 会 報 告

委 員 長 中 林 靖

副委員長 小 林 敬

委 員 代々木 和 男 中 畑 龍 二

森 善 助 三 橋 英 一

古 谷 英太郎 矢 島 誠 治

1. チャリティーバザー開催 緑区役所を通して善意銀行に協力
2. 緑区少年野球記念大会へ賛助
3. 中里学園、園児慰問（クリスマス会）
4. 視覚障害者福祉協会のチャリティー公演
5. いのちの電話に協力
6. チャリティーコンサート（盲人音楽家）に協力
7. 川和少年剣士会に協力
8. 緑警察署「交通安全大合唱」運動に協力
9. 中山駅前広場の時計の取替を行った。

青少年委員会報告

委員長 岡 本 健
副委員長 岩 沢 幸 男
委 員 鵜 川 昇 三 沢 君 夫
山 下 栄 蔵

1. 緑警察署・緑交通安全協会主催，夏の交通安全講座を開催，映画評論家「水野晴郎とヤングドラ
イバーの集い」に参画した。又緑ロータリークラブ名入りの愛の鈴「キーホルダー」1万個を贈呈し
た。（8月14日）
2. 地区青少年委員長，鵜川昇会員の「青少年活動の方向並に現状」を拝聴した。又アメリカンスク
ールの実状をビデオにより紹介した。（ビデオは先般鵜川会員が訪米時収録したもの）
（9月8日）
3. ローターアクト，インターアクトの活動に協力した。
4. ライラについても積極的に参加した。

インターアクト委員会報告

委員長 代々木 和 男
副委員長 寺 崎 誠 三
委 員 鵜 川 昇 森 善 助
中 村 彰 宏 豊 田 洋

全期を通じ，インターアクト会員との親睦と理解につとめた。

1. インター例会前に必ず出席勧奨状を回覧した。
例会 17回
RC会員出席 44名
2. インター例会でRC会員の卓話を行った。
3. RC例会にインター会員を招待した。
2回 7名
4. インター年次大会にインター会員の出席を援助した。
出席 57名
5. 海外研修（ハワイ）に2名参加。

昭和 57 年度・インターアクトクラブ活動報告

1. 構成委員会とその現状

① 奉仕委員会

(活動内容) 毎月一回の清掃活動を計画立案し、実行する事。

(反省) 活動が地味で単調な為、慣れ合いが生じた事。

(今後) 会員をグループ別に分け、毎週清掃活動を行うようにする。…〔塚原先生案〕

② 親睦委員会

(活動内容) 他校との親睦を保つ事及びいろいろな催しに参加する計画を立てる事。

(反省) 他校との交流の点で(他校 I.C とはその性質がちがうが)うまくいかなかった。

(今後) 他校との連絡を保ち、特に中里学園との交流を活発にする。

③ 国際委員会

(活動内容) 夏期休暇中に、海外ロータリークラブを訪問、その後、文通などによって連絡し合う。

(反省) 文通が今一つ活発でなかった事。

(今後) 活動が限定されてしまっているが、国際的な事なので、下準備をきちんとやり、万全を期す。

④ 財務委員会

(活動内容) ベルマーク、ロータス・クーポン、古切手の収集。

(反省) 地味な活動ではあったが、着実に実行出来たようだ。

(今後) 活動に変わりはないだろうが、それだけに成果もあげやすい。

⑤ 広報委員会

(活動内容) I. C. 新聞、ポスター等の作成。

(反省) 今年度は、新聞を発行する事が出来た。

(今後) 新聞をもっと定期的に発行出来る事が課題。

⑥ プログラム委員会

(活動内容) 年間プログラムの作成。

(反省) ほとんど活動がされていなかったのではないかな?

(今後) 清掃活動を行う日程や新聞の発行日をきちんと決めておいた方が、他の委員会も活動しやすい。

⑦ 出席委員会

(活動内容) 定例会時の出欠確認及び出席率の計算。

(反省) 出席をとる時にスムーズにできなかった事があった。

(今後) 清掃活動の出席率をわりだす事もいいのではないかな。

⑧ 会員選考委員会

(活動内容) 会員増強の為の入会勧誘等。

(反省) 結果的には、一人の一般生会員をも入会させる事が出来なかった。

(今後) 広報委員会と協力して、さらに活発に入会勧誘を行う事。

2. 会員をグループ別に分け、毎週、清掃活動を行う事について。

今までの清掃活動は、毎月一回全員で行っていた。幸いにも、今年度はほぼ毎月行なう事が出来たが、人数が多い為、遊んでしまう者も多数出た。そこで、一班 30 人くらいにして四班づくり活動した方が会員全員に仕事がゆきわたり、能率もいいのではないかという考えに基いて。

3. 鶴見川サイクリングコースにゴミ箱を設ける案。……〔豊川君の提案〕

寮や学校で使用している“クリーナー”の空カンを利用し、鶴見川サイクリングコースにゴミ箱を設置する。これは、毎回の定例会で「ゴミをだしてから拾うのではなく、ゴミをださないようにする事が大事だ」という意見が、何度も出されたので、それに対する策として。そして、定期的にゴミ箱を回収して、中のゴミを捨てるようにする。

警察の許可を得なければならないそうだが、今年度内に実施したい。

4. ベルマーク、古切手、ロータス・クーポンを P H P 研究所に寄付する事について。

昨年度までは、学校の生徒会に寄付して来たが、そうすると生徒会が集めたような形になってしまふ。自慢をしいたわけではないが、そうすると寮生が買い物をしたり、手紙が来る度に気をつけて集めた努力が半減してしまうようで少し残念な気がする。たまたま、P H P で募集していたので、送る事にした次第。

5. 昭和 57 年度を通して

今年度は、大きな失敗もなく、ここまでやって来ていると思う。

昨年度までにはなかった新しい企画も 2 ～ 2 あったし、それに新聞が出せた事は大変よかったと思う。それに、毎回の定例会の前には、おそまつながらも理事会を開く事が出来た。毎年、理事が有名無実のように見られて来たが、まんざらでもないようだ。

後少し期間が残されているが、このままの調子でやっていきたい。

ローターアクト委員会報告

委員長	三	沢	君	夫			
副委員長	戸	田	裕	也			
委員	鵜	川	昇		林	達	磨
	小	林	敬		幸	内	伸
	好	井	良	雄	渡	辺	健
					一		

1. R. A. C. の奉仕活動に積極的に参加

県立白石沢キャンプ場に於ける奉仕活動に参加。参加者 34 名（内中里学園 22 名），ロータリアン 4 名（武藤副会長，山下情報委員長，岡本青少年担当理事，三沢委員長）。

楽しいキャンプファイヤーに地元の家族が参加して下さった事は本当に有意義であった。

2. 例会，親睦会，Xマス家族会にアクトを招いて，R. C. と R. A. C. との交流を密にする。

例会に新，旧，会長，幹事，並びに担当の長谷川先生を招き交流した。

3. ローターアクト会員増強運動に寄与する件

R. A. C. 卒業生名簿を他地内ローターアクト・クラブに配布，会員の増強に寄与した。

4. 国際理解促進の為，海外研修への積極的参加

海外研修の期が試験と重複し，其の目的を達し得なかった。

職業奉仕委員会報告

委員長	渡	辺	武
副委員長	岩	岡	正
委員	名	倉	健
	二		
	武	田	峯
	生		

「職業奉仕」についての理解と徹底をはかるため，次の点を積極的に推進いたしました。

1. 職業奉仕フォーラムを 2 回行いました。とくに 2 回目のフォーラムの時には，会員事業所における「社訓」「信条」「ターゲット」「モットー」等を発表していただき，全会員とも非常に参考になりました。

2. 「四つのテスト」を月 1 回第一例会日に唱和し，その適用について推進いたしました。

3. 職場見学を昭和 57 年 10 月 6 日に行いました。見学先は電々公社横浜電報電話局で，最新の通信機器とその現況，救急医療情報システム等について見学しました。

4. 「奉仕こそわがつとめ」の小冊子を配布し，職業奉仕について理解を深めていただくよう努力しました。

5. 前年に引き続き会員の健康管理のため「電子血圧計」を使用しました。

国際奉仕委員会報告

委員長 中 村 彰 宏

副委員長 小 林 安 雄

委 員 阿久根 幹 成 赤 柄 忠 昭

1. 姉妹クラブ韓国大邱松林ロータリークラブとの友好親善を深める為、4月28～5月1日、山下会員を団長に、姉妹クラブ締結2周年松林R.C創立4周年記念式典に参加する為訪門。又、昨年同様ナザレ園を訪問し、会員の寄附¥72,000-等を持参し大変によろこばれた。
2. 地域内にある東京工大留学生会館の留学生との交流を計り、国際理解を深める為、9月29日ホテルホリデーイン横浜に於いて中国よりの留学生10名招待し、会員家族との交歓会を催した。
3. C. C. W. A. の「国際精神里親運動」への会員の参加を呼びかけ、今年度新たに7名の会員が参加された。
4. 国際青少年計画について、オーストラリアのジャックソンウェンディー来日、今年度山田会員、林会員宅でお世話し、川和高校に通学している。
5. 世界理解週間にあたり、3月9日オーストラリア留学生ジャックソンウェンディーより「日本とオーストラリアの生活」と題して卓話をいただいた。
6. 交換学生鈴木早苗さん、オーストラリア交換学生3月27日より、ワーナンプールR.C. (スポンサー)に留学。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 富 永 力

副委員長 加 藤 雅 光

1. 1982年R. I 理事会は2月23日(ロータリー創立記念日)を世界中のロータリークラブが毎年尊奉する「世界理解と平和の日」を制定した。之を記念する一端として、会員一人当り1ドルの寄附を奨励しましたところ予想以上の協力を得まして、世界社会奉仕事業に対し寄附させていただきました。
2. 83-85年度W. C. S. 地区組合せプロジェクトにより、メキシコ San Luis de La paz R. C と世界国際奉仕の増進について情報を交換、提携を進める積りであったが国際経済状況の著しい変動のため立案だけに終った。

ロータリー財団委員会報告

委員長 加藤 雅 光

副委員長 長瀬 正 作

年度初めの計画として、きびしい経済状況から募金対照を会員夫人に拡げた。その後ガバナー公式訪問の席上具体的に夫人に準フェローに加入をすすめる運動を始めた。可成りの夫人からのご賛同を得たが、上述の経済環境からか、全体としては頭初の予想通りには進歩していない。

来年度出発予定の財団奨学生小山由美さんを卓話・クリスマス会等に招き、親睦を重ねると共に、カウンセラーとして指導を行った。

○ポールハリスフェロー（35名 ○印会員外 □印元会員）

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 阿久根 幹 成 君 | 11. 名 倉 健 二 君 | ① 土志田 昭 吉 殿 |
| 2. 岩 本 正 三 君 | 12. 中 山 恒三郎 君 | ② 黒 沢 保 殿 |
| 3. 岩 岡 正 君 | 13. 田 辺 政 雄 君 | ③ 武 藤 勝 典 殿 |
| 4. 岩 沢 幸 男 君 | 14. 寺 崎 誠 三 君 | ④ 戸 田 修 殿 |
| 5. 加 藤 雅 光 君 | 15. 富 永 力 君 | ⑤ 高 橋 正 文 殿 |
| 6. 小 林 安 雄 君 | 16. 内 野 晃 君 | ⑥ 武 藤 義 一 殿 |
| 7. 三 沢 君 夫 君 | 17. 鶴 川 昇 君 | ⑦ 武 藤 泰 典 殿 |
| 8. 森 善 助 君 | 18. 矢 島 誠 治 君 | ⑧ 石 川 治 道 殿 |
| 9. 武 藤 松 一 君 | 19. 山 下 栄 蔵 君 | ⑨ 山 口 吉 蔵 殿 |
| 10. 長 瀬 正 作 君 | 20. 代々木 和 男 君 | ⑩ 鈴 木 憲 一 殿 |
| | 21. 好 井 良 雄 君 | ⑪ 森 玉 江 殿 |
| | | ⑫ 武 藤 純 子 殿 |
| | | ⑬ 浜 田 勝 弥 殿 |
| | | ⑭ 中 山 礼 子 殿 |
| | | ⑮ 岩 崎 董 正 殿 |
| | | ⑯ 田 辺 しげ子 殿 |

○ポールハリス準フェロー

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 君 | 5. 加 藤 勇 夫 君 | 9. 三 橋 英 一 君 |
| 2. 遠 藤 真 作 君 | 6. 加 藤 貞 夫 君 | 10. 中 林 靖 君 |
| 3. 古 谷 英太郎 君 | 7. 小 林 敬 君 | 11. 中 畑 龍 二 君 |
| 4. 林 達 磨 君 | 8. 幸 内 伸 雄 君 | 12. 中 村 彰 宏 君 |

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 13. 岡 本 健 君 | 17. 戸 田 裕 也 君 | 21. 藪 島 五 郎 君 |
| 14. 城 田 昭 次 君 | 18. 豊 田 洋 君 | 22. 山 田 雅 人 君 |
| 15. 武 田 峯 生 君 | 19. 渡 辺 健 一 君 | 23. 河 原 照 忠 君 |
| 16. 田 沼 文 衛 君 | 20. 渡 辺 武 君 | |

○準フェロー会員外

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 岩 岡 明 子 殿 | 3. 三 沢 良 子 殿 | 5. 長 瀬 すみ子 殿 |
| 2. 加 藤 和 子 殿 | 4. 武 藤 智恵子 殿 | 6. 田 辺 益 美 殿 |

米 山 奨 学 委 員 会 報 告

委員長 森 善 助

副委員長 岩 本 正 三

1. C.Y 奨学生として詹秀媚（台湾）さんを昭和48年3月末までホストし、通算2年にわたり、勉学を援助することができました。
2. 普通寄附金を1人当り3000円として米山奨学会への財政援助をした。

○米山功労者（☐印 元会員）

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 1. 岩 岡 正 君 | 6. 武 藤 松 一 君 |
| 2. 加 藤 雅 光 君 | 7. 長 瀬 正 作 君 |
| 3. 小 林 安 雄 君 | ☐ 8. 秋 田 茂 君 |
| 4. 三 沢 君 夫 君 | 9. 田 辺 政 雄 君 |
| 5. 森 善 助 君 | |

○米山準功労者

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 君 | 9. 中 村 彰 宏 君 | 17. 内 野 晃 君 |
| 2. 遠 藤 真 作 君 | 10. 中 山 恒三郎 君 | 18. 鷗 川 昇 君 |
| 3. 岩 沢 幸 男 君 | 11. 岡 本 健 君 | 19. 渡 辺 武 君 |
| 4. 加 藤 勇 夫 君 | 12. 城 田 昭 次 君 | 20. 藪 島 五 郎 君 |
| 5. 小 林 敬 君 | 13. 田 沼 文 衛 君 | 21. 山 田 雅 人 君 |
| 6. 幸 内 伸 雄 君 | 14. 寺 崎 誠 三 君 | 22. 山 下 栄 蔵 君 |
| 7. 名 倉 健 二 君 | 15. 戸 田 裕 也 君 | 23. 好 井 良 雄 君 |
| 8. 中 畑 龍 二 君 | 16. 富 永 力 君 | 24. 代々木 和 男 君 |

会 計 報 告

(11982.7 ~ 1983.6)

会 計 藪 島 五 郎

副会計 河 原 照 忠 北 島 司

(一 般 会 計 の 部)

(収 入 の 部)

単位 円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	7,330,000	6,880,000	△ 450,000
入 会 金	500,000	200,000	△ 300,000
雑 収 入	150,000	160,876	10,876
繰 越 金	280,202	280,202	0
収 入 合 計	8,260,202	7,521,078	△ 739,124

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
本 部 資 金	215,000	237,195	22,195
地 区 分 担 金	604,000	560,500	△ 43,500
地 区 大 会 分 担 金	256,000	240,000	△ 16,000
I G F 分 担 金	256,000	141,000	△ 115,000
地 区 協 議 会 分 担 金	120,000	75,000	△ 45,000
米 山 資 金	153,000	142,500	△ 10,500
予 備 費	57,000	0	△ 57,000
分 担 金 支 出 合 計	1,661,000	1,396,195	△ 264,805
例 会 費	250,000	216,317	△ 33,683
記 念 品	420,000	365,500	△ 54,500
通 信 費	125,000	114,455	△ 10,545
消 耗 品 費	50,000	23,754	△ 26,246

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減
印	刷 費	400,000	506,655	106,655
事	務 委 託 費	1,250,000	1,240,000	△ 10,000
備	品 費	30,000	0	△ 30,000
交	際 費	50,000	46,000	△ 4,000
雑	誌 文 献	230,000	242,859	12,859
慶	弔 費	50,000	20,000	△ 30,000
予	備 費	250,000	0	△ 250,000
特	別 会 計 へ 振 替	800,000	250,000	△ 550,000
総	務 費 合 計	3,905,000	3,025,540	△ 879,460
会	員 増 強	10,000	0	△ 10,000
会	員 選 考	10,000	0	△ 10,000
出	席 将 励	10,000	0	△ 10,000
会	報	950,000	1,358,860	408,860
親	睦	1,000,000	795,500	△ 204,500
雑	誌	0	0	0
プ	ロ グ ラ ム	350,000	400,500	50,500
広	報	100,000	80,000	△ 20,000
ロ	ー タ リ ー 情 報	5,000	0	△ 5,000
職	業 分 類	0	0	0
S	A A	50,000	132,940	82,940
雑	費	30,000	66,000	36,000
予	備 費	179,202	0	△ 179,202
事	業 費 計	2,694,202	2,833,800	139,598
次	期 繰 越 金		265,543	265,543
支 出 合 計		8,260,202	7,521,078	△ 739,124
資	定 期 預 金	1,500,000		
産	普 通 預 金	280,202		
残	普 通 預 金	368,129		
高	普 通 預 金	63,775		

〔 特 別 会 計 の 部 〕 (食 事)

(収 入 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	2,398,000	2,300,000	△ 98,000
ピ ッ タ ー 登 録 料	100,000	84,000	△ 16,000
雑 収 入	10,000	1,894	△ 8,106
繰 越 金	63,775	63,775	0
収 入 計	2,571,775	2,449,669	△ 122,106

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
例 会 食 事 費	2,510,000	2,427,200	△ 82,800
予 備 費	61,775	0	△ 61,775
支 出 計	2,571,775	2,427,200	△ 144,575
次 期 繰 越 金		22,469	22,469
支 出 合 計	2,571,775	2,449,669	△ 122,106

〔 特 別 会 計 の 部 〕 (奉 仕)

(収 入 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
ス マ イ ル	1,200,000	1,167,700	△ 32,300
雑 収 入	10,000	5,621	△ 4,379
世 界 社 会 奉 仕	0	0	0
交 換 学 生 補 助 金	0	240,000	240,000
一 般 会 計 よ り 振 替	800,000	250,000	△ 550,000
繰 越 金	368,129	368,129	0
収 入 計	2,378,129	2,031,450	△ 346,679

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
職 業 奉 仕	100,000	0	△ 100,000
姉 妹 ク ラ ブ 訪 日 予 算	0	0	0
社 会 奉 仕	500,000	493,341	△ 6,659
青 少 年	250,000	300,000	50,000
イ ン タ ー ア ク ト	200,000	285,000	85,000
予 備 費	0	0	0
交 換 学 生 補 助 金	0	0	0
ロ ー タ ー ア ク ト	400,000	185,800	△ 214,200
国 際 奉 仕	450,000	758,300	308,300
世 界 社 会 奉 仕	150,000	0	△ 150,000
予 備 費	328,129	0	△ 328,129
支 出 合 計	2,378,129	2,022,441	△ 355,688
次 期 繰 越 金		9,009	9,009
支 出 合 計	2,378,129	2,031,450	△ 346,679

横浜緑ロータリークラブ組織表

1982年～1983年（昭和57年～昭和58年度）

1. 理 事	田 辺 政 雄	武 藤 松 一	中 林 靖	中 村 彰 宏
	渡 辺 武 岡 本 健	岩 沢 幸 男		
2. 役 員	会 長 田 辺 政 雄	副会長 武 藤 松 一		
	幹 事 内 野 晃	副幹事 渡 辺 武		
	S A A 遠 藤 真 作	副SAA 城 田 昭 次		
		加 藤 勇 夫		
	会 計 藪 島 五 郎	副会計（北 島 司）		
		河 原 照 忠		

3. 委員会（◎印 委員長 ○印 副委員長）

A クラブ奉仕委員会（担当理事） ◎武 藤 松 一

1. 出 席 委 員 会	◎中畑龍二	渡辺健一	林 達 磨	
2. 職業分類委員会	◎寺崎誠三	矢島誠治(2)	山田雅人(3)	
3. 親睦活動委員会	◎幸内伸雄	○山田雅人	赤柄忠昭	名倉健二
	富永力	好井良雄	田沼文衛	小林 敬
	(北島 司)	城田昭次	中畑龍二	(山本国雄)
	河原照忠	加藤貞夫	栗嶋 優	近藤裕蔵
	大島匡佐	飯塚金次郎	横井好明	
4. 雑 誌 委 員 会	◎阿久根幹成	○名倉健二		
5. 会 報 委 員 会	◎田沼文衛	○(山本国雄)	林 達 磨	岩岡 正
	加藤勇夫	長瀬正作	渡辺健一	寺崎誠三
6. 会員選考委員会	◎中山恒三郎	○岩沢幸男	小林安雄	
7. 会員増強委員会	◎武藤松一	○山下栄蔵	中山恒三郎	三沢君夫
	古谷英太郎			
8. プログラム委員会	◎戸田裕也	○赤柄忠昭	加藤直幸	
9. ローター情報委員会	◎山下栄蔵	岡本 健(2)	岩沢幸男(3)	
10. 広 報 委 員 会	◎豊田 洋	○武田峯生	加藤勇夫	

B 社会奉仕委員会（担当理事） ◎中 林 靖 ○小 林 敬 代々木 和 男

	中 畑 龍 二	森 善 助	三 橋 英 一	
	古 谷 英 太 郎	矢 島 誠 治		
1. 青 少 年 担 当 理 事	◎岡本 健	○岩沢幸男	鵜川 昇	三沢君夫
	山下栄蔵			
2. インターアクト	◎代々木和男	○寺崎誠三	鵜川 昇	森 善 助
	中村彰宏	豊田 洋		
3. ローターアクト	◎三沢君夫	○戸田裕也	鵜川 昇	林 達 磨
	小林 敬	幸内伸雄	好井良雄	渡辺健一

C 職業奉仕委員会（担当理事） ◎渡 辺 武 田 峯 生 ○岩 岡 正 名 倉 健 二

D 国際奉仕委員会（担当理事） ◎中 村 彰 宏 ○小 林 安 雄 阿久根 幹 成

	赤 柄 忠 昭			
1. 世 界 社 会 奉 仕	◎富永力	○加藤雅光		
2. ローター財団	◎加藤雅光	○長瀬正作		
3. 米 山 奨 学	◎森 善 助	○岩本正三		

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	アクリル名札板	1
国 旗	1	卓上名札	23
クラブ旗	1	テーブル・クロス	21
認 証 状	1	コーヒー・セット	40
スマイル・ボックス	1	マホー・ビン	10
グッド・ウィル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
レクチャー・アンプ	1	茶 棚	1
テープ・レコーダー	1	シュガー・ポット	6
レコード・プレーヤー	1	ナブキン立て	6
レコード(ロータリー・ソング)		調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗(さお共)	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印(角)	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	書 類 棚(W90×H180)	2
バナー立て	13	冷 蔵 庫	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
写 真 機	1	漆谷RCから点鐘台(大邸松林RC)	1
黒 板	1	〃 記念楯	1

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

昭和 58 年 6 月 30 日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	業 分	類			
医 術	内 科	Physician	山 田 雅 人	山田医院	院 長
	外 科	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
	小 児 科	Pediatricist	阿久根 幹 成	阿久根医院	院 長
	産 婦 人 科	Obstetrician & Gynecologist			
	歯 科	Dentist			
施設及び病院	口 腔 外 科	Oral Cavity Surgeon	林 達 磨	林歯科医院	院 長
	病 院	Hospital	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長
	高 等 学 校	Senior High School			
教 育	幼 稚 園	Kindergarten	岩 沢 幸 男	みは幼稚園	園 長
	私 塾	Private School	矢 島 誠 治	中山学園	経 営 者
	弁 護 士	Lawyer	武 田 峯 生	武田法律事務所	所 長
ビジネスサービス	税 理 士	Tax Service	渡 辺 武 夫	税理士 渡辺武事務所	所 長
	経 営 相 談	Business Counseling Service	加 藤 貞 夫	加藤税務会計事務所	所 長
	仏 教	Buddhist			
宗 教	神 道	Shintoism			
	送 風 器	Blower			
	機 械 設 計	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取締役社長
機械及び装置	履 帯	Caterpillar			
	板 金 工 作	Sheet Metal Working			
	金 型 製 造	Molds Mig			
金属加工業	自 動 車 販 売	Automobile Dealers	豊 田 洋	北京浜三菱自動車販売㈱	社 長
	自 動 車 修 理	Automobile Repairing	小 林 敬	㈱プラザーモーター	代表取締役

関連	職業分類		会員名	勤務先	役職名
	業	分 類			
電気及び電子工業	電気工事	Electric Construction			
	電気器具製造	Electric Appliance Mfg	藪島 五郎	関東電気(株)	代表取締役
	測 量	Land Surveying			
	物理療法	Physical Therapeutics	加藤 勇夫	加藤接骨院	院 長
	プラスチック工業	Vinyl High Frequency Processing			
	金型製造	Molds Mfg	渡辺 健一	(株)ケンシン精機製作所	代表取締役
	印刷及び出版	Book Dist			取
	鉱油工業	Refined Oil Products	岩岡 正	岩岡商事(株)	代表取締役
	船舶及び航海用具	Gasolin Dist	城田 昭次	(株)城田石油	代表取締役
	銃器及び火薬	Ship Repairing	田辺 政雄	大丸工業(株)	代表取締役
通 信 事 業	銃	Fire Arms	岡本 健雄	(株)ミロク精機製作所	取締役社長
	電話事業	Telephone Service	(山本 国匡)	中山電報電話局	局 長
	情報通信	Information	横井 好明	横井通信工業(株)	代表取締役
	建築請負業	General Contracting			
	建築設計	Architect	寺崎 英一	(株)寺崎工務店	代表取締役
	建築	Building Construction			
	土木工事	Public Works	三橋 英一	三橋建設(株)	取締役社長
	舗装工事	Pave Construction	飯塚 金治郎	宇路建設(株)	代表取締役
	建築材料	Building Material	代々木 和男	(株)代々木商店	取締役社長
	アスファルト製品	Asphalt Products	中林 靖	日本舗材(株)	取締役社長
建築材料資材	生コン配布	Concrete Distributing	幸内 伸雄	日建輸送(株)	代表取締役
	設備工事	Equipment Construction	遠藤 真作	(株)遠藤製作所	社 長
	家庭用家具	Household Furniture			
	室内装飾用品	Upholstering			

2/23
退会
3/2
入会
5/11
入会

5/11
入会

関連	職業業分		種類	会員名	勤務先	役職名
	連	分				
不動産	不動産	不動産業	Real Estate Agency			
	ビル	賃貸	Building Renting			
運送	貨物自動車輸送	貨物自動車輸送業	Trucking Agency			
	旅行	旅行業	Tourist Agency	赤柄忠昭	サン東総業㈱	専務取締役
衣料	繊維製品	繊維製品業	Cotton Goods	河原照忠	㈱トーカー横浜支店	支店長
	リネンサービス	リネンサービス業	Linen Supply			
農業及び造芸畜産業	農業	農業	Agriculture			
	飼料	飼料業	Feeds			
畜産	獣畜	獣畜業	Veterinarian	中畑龍二	中畑動物病院	院長
	酒	酒類	Alcoholic Beverage			
食品	精飲料	精飲料業	Food Importing & Exporting			
	食品輸出入	食品輸出入業	Food Importing & Exporting			
金融	都市銀行	都市銀行業	City Banking	(江・藤 裕 蔵)	三井銀行青葉台支店	支店長
	地方銀行	地方銀行業	Local Banking	加藤直幸	横浜銀行中山支店	支店長
印刷及び広告写真	外国為替銀行	外国為替銀行業	Foreign Exchange Banking	栗嶋 優	東海銀行中山支店	支店長
	信用金庫	信用金庫業	Credit Banking			
写真	広告	広告業	Advertisement			
	写真	写真業	Photograph			
美容	理容	理容業	Bar bar			
	美容院	美容院	Beauty Shop	中村彰宏	㈱中村アルモニー	代表者

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
清 酒 飲 料	Alcoholic Beverage		中 山 恒三郎	㈱中山恒三郎商店	取締役社長
ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing		富 永 力	富永高周波工業㈱	代表取締役
消化器病科医	Gastro Enterologist		加 藤 雅 光	ヨコハマ・クリニック	院 長
板 金 工 作	Sheet Metal Working		小 林 安 雄	㈱小富士産業	取締役社長
歯 科 医	Dentist		岩 本 正 三	岩本歯科医院	院 長
高 等 学 校	Senior High School		鷗 川 昇	桐蔭学園	校 長
送 風 器	Blower		武 藤 松 一	㈱武藤電機	相 談 役
履 帯	Caterpillar		名 倉 健 二	㈱東京リンク製作所	取締役社長
タ ク シ ー 業	Taxicab Service		長 瀬 正 作	網島交通㈱	取 締 役
室内装飾用品	Upholstering		古 谷 英太郎	㈱ペイント・アート	代表取締役
農 業	Agriculture		森 善 助		
食 品 材 料 配 布	Foods Material Distributing		田 沼 文 衛	グリーン食品㈱	相 談 役
ボ ー リ ン グ 場	Bowling		三 沢 君 夫	三沢合資会社	代 表 者
鉄 鋼 建 築 業	Iron Building Industry		好 井 良 雄	㈱好井鉄工所	代表取締役

